

神奈川県国際ライフサイエンス実用化開発拠点

革新的計測・評価技術開発によるライフイノベーション創生 —レギュラトリーサイエンス推進拠点の形成

総合調整機関

公益財団法人 神奈川県科学技術アカデミー (KAST)
〒213-0012
川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟6階
TEL044-819-2030

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

- 産…(一般社) 神奈川県経営者協会、神奈川県中小企業団体中央会
- 学…**北里大学**、**横浜国立大学**、横浜市立大学、(公財) 実験動物中央研究所、**(公財) 神奈川県科学技術アカデミー**
- 官…神奈川県、横浜市、川崎市
- 金…横浜銀行



プロジェクトディレクター
馬飼野 信一

略歴：昭和49年 神奈川県工業試験所に入所。神奈川県産業技術センター副所長、所長を歴任、現在公益財団法人神奈川県科学技術アカデミーの専務理事。

神奈川県工業試験所に入所して以来、平成23年3月神奈川県産業技術センターを退職するまで一貫して計測・評価の技術支援や産学公連携による企業支援業務に従事。平成17年神奈川県R&D推進協議会を発足させた。この協議会に参加する大企業、中小企業、大学及び公的機関の連携をコーディネートするなど、現職のKAST専務理事職を含めて神奈川の産学公連携を推進する。

地域イノベーション戦略

神奈川の持つ知的資源と産業の集積を生かし、国際競争力を生み出す科学技術基盤の構築と技術シーズの実用化展開、先端的な研究開発をリードする人材の育成により、世界に通用する革新的な医薬品・医療機器の開発や新たな健康関連産業を創出するライフサイエンス分野の実用化開発拠点を形成し、我が国の国際競争力向上を図りながら持続的経済成長を牽引する。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積 (実施機関：KAST、北里大学)

新技術や新製品の品質・有効性・安全性を科学的根拠に基づいて正しく評価するため、3つの柱の研究開発を行う人材を集積し、レギュラトリーサイエンスを推進する革新的評価・計測技術の推進と医療・健康関連産業の創出を図る。高齢社会に特徴的な病気(がん、生活習慣病、感染症)の対策であり、人のヘルスケアにおける健康/予防・未病/維持改善・疾病/治療・予後/回復の各ステージにおいてそれぞれ必要な測定・評価法の確立を研究テーマとする。

I. がんや生活習慣病の診断・創薬・治療に寄与する計測・評価システム	<ul style="list-style-type: none"> ・堀内 正テマリーダー ・安田賢二リーダー (KAST/東京医科歯科大学) ・竹内昌治リーダー (KAST/東京大学) ・(地域) 河野隆二リーダー (横浜国立大学)
II. 医食農同源に向けた食品等の機能性安全性評価システム	<ul style="list-style-type: none"> ・阿部啓子テマリーダー ・阿部啓子リーダー (KAST/東京大学) ・清原寛章リーダー (北里大学生命科学研究所) ・(地域) 神奈川県産業技術センター/衛生研究所/農業技術センター
III. 感染症対策に向けた細菌・ウイルスの評価・予防・治療法の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・窪田吉信テマリーダー ・窪田吉信リーダー (KAST/横浜市立大学) ・花木秀明リーダー (北里大学生命科学研究所) ・(地域) 朴三用リーダー (KAST/横浜市立大学) ・(地域) 川崎市 健康安全研究所

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：KAST、横浜国立大学)

地域イノベーション戦略実現のためには、レギュラトリーサイエンスを推進する革新的評価・解析技術を確認するとともに、その評価・解析技術を有効に活用して、画期的な医薬品、医療機器、健康関連製品等の開発や商品化に結びつけることのできる人材の育成を目指して以下の人材育成プログラムを開発し実施する。

- I 将来レギュラトリーサイエンスに基づく医工融合領域でリーダーとして活躍できる大学生・大学院生の育成 (中長期的な観点での人材育成)
- II レギュラトリーサイエンスを良く理解してライフサイエンス関連の研究開発や商品開発ができる社会人研究者・技術者の育成 (短中期的な観点での人材育成)

3. 大学等の知のネットワークの構築 (実施機関：KAST)

革新的計測・評価技術に係る研究開発の推進と成果の有効活用に向けて、医療ニーズとシーズのマッチング、企業の異分野参入支援、知財支援を推進するため、民間企業で研究開発、製品化、事業化の経験の有している人材や公的機関での技術移転経験者等の専門的人材を新たに投入することにより、従来からある知的財産関連のKASTのコーディネート機能を補完し、発展させる。更に、国際技術動向調査ユニットによる海外調査等により企業の国際展開を支援する。

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化 (実施機関：KAST)

ナノ・マイクロファブリケーションに関して、4大学 (慶應義塾大学、早稲田大学、東京工業大学、東京大学) で作るコンソーシアムが所有する高性能の最先端分析機器や「超高精度電子ビーム描画装置」などの試作デバイス作製設備機器を共用化する。また、神奈川県やKASTが開発してきた計測・評価方法の活用を促進するために装置の共用化を行い、地域企業、特に中小企業における新技術の実用化や事業化を支援する。